

2010年3月期 第3四半期決算 カンファレンスコール 質疑応答(要約)

Q. 最近どういった品目が売れているのか？

A. GEでは当社しか販売していないハルスローODのほか、製剤付加価値の高いラソプランODが好調です。

Q. 制度変更の影響で売上数量が変動する以外に、原価面で第3四半期に比べて悪化する要因はあるのか？

A. 特に低価法の影響は、実際の期末在庫と直近の販売価格によって決まるため、不確定な要素になると考えています。

Q. 原価改善による粗利増が11億円あるとのことであるが、特殊要因によるもののみで、増産効果による原価改善は特に入っていないということなのか？

A. 11億円の中には低価法や廃棄損の影響が軽減された分が約5億円入っており、実質的な原価改善は6億円程度で、率にいたしますと1.4%程度と考えております。

Q. 第4四半期はいくつかの要因があるとしても、ポジティブに働く力の方が強いのではないかと思うが、それも見越した上で業績を保守的に見ていると理解して良いか？

A. ご理解のとおりでよろしいかと存じます。荷動きについては、まだ現実には起こっておらず、買い控えの動きも見られますので、実際の荷動きが出てから数字を見直したいと思っております。

Q. 調剤報酬の見直しの中に、GE使用体制として入院初日の加算があるが、これは比較的新しいインセンティブと考えて良いか？また、ポジティブに考えて良いか？

A. そういうご理解でよろしいかと存じます。まだ加算の額がわからないため、その影響については計りかねているところです。

Q. 4月以降の考え方として、仮に調剤報酬加算に120円とか190円がつくとした場合、どの程度まで市場拡大する可能性があるかと思込んでいるのか？

A. 市場の拡大幅は、まだわかりかねますが、中計ではGEの数量30%に向けて市場が拡大していくという想定であり、その線で拡大していくとは考えております。

Q. 4月以降、仮に中計で見込んでいた以上に市場が拡大する場合、投資計画の見直しは行うのか？今回の中計期間中には、新規設備投資は実施しないとの説明だったが。

A. いきなり30%達成するのではなく、まず25%達成を目標として薬局様は動かれるのではないかと考えています。その場合、GE市場全体は20～30%拡大するとみており、これは弊社の中計よりも若干、アクセルがかかるのではないかと考えておりますので、若干前倒しにすべきか社内で検討を開始しております。